MITSUBISHI KAGAKU MEDIA

直管形LEDランプ（2灯用電源タイプ）

FLD24X2DTシリーズ用

取扱説明書

この取扱説明書は、直管形LEDランプの設置方法を説明しています。この製品は、1台の電源ユニットに2灯の直管形LEDランプを接続することができます。

■リニューアルキット

安全上のご注意

■工事店様へ：施工上の警告とご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が法律で義務付けられています。

⚠ 警 告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ●電源を必ず切ってください。
- ●電源ユニットに表示された電圧（定格電圧±6%以内）以外で使用しないでください。（短寿命、火災の原因）
- ●電源ユニットおよび直管形LEDランプは屋内専用で−20℃～ 50℃の範囲で使用してください。（火災の原因）
- ●電源ユニットを改造したり、部品を変更しないでください。（落下、感電、火災等の原因）
- ●調光機能を搭載した照明機具や回路に取り付けないでください。（故障の原因）
- ●電源線接続の際は、取扱説明書に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。
- ●電源ユニットの取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書に従って行ってください。（落下、感電、火災等の原因）
- ●LEDランプ取り付けの際は、落下防止器具を取り付ける等の適切な処置を行ってください。（落下の原因）

⚠ 注 意

誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ●屋外や雨の吹き込む場所、湿気、水気のある場所では使用しないでください。（絶縁不良、感電の原因）
- ●直射日光の当たる場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。（腐食、落下、絶縁不良等の原因）
- ●器具を密閉した空間で使用しないでください。（短寿命の原因）

■お客様へ：安全に関する警告とご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が法律で義務付けられています。

⚠ 警 告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ●布や紙などの可燃物で覆ったり、燃えやすいものを近づけないでください。（火災の原因）
- ●器具、ランプを分解、改造しないでください。（落下、感電、火災等の原因）
- ●LEDランプカバーが外れ、LED電極部が露出した場合は直接LED電極部に触れず、工事店にお問い合わせください。（感電、やけどの原因）
- ●発煙、異臭がするなど異常が発生した場合は、すぐに電源を切り工事店にお問い合わせください。（感電、火災の原因）

⚠ 注 意

誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。（感電の原因）
- ●水洗いや分解、改造はしないでください。LED光源のみの交換はできません。（故障、感電の原因）
- ●清掃する際は、乾いた布か、水で浸した布をよく絞ってから拭いてください。
- ●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。（破損の原因）
- ●屋外や雨の吹き込む場所、湿気、水気のある場所では使用しないでください。（絶縁不良、感電の原因）
- ●点灯中のLEDランプを直視し続けないでください。（目を痛める原因）
- ●照明器具には、寿命があります。設置して10年経つと、外観には異常がなくても劣化が進行しています。器具の点検交換をお勧めします。
- ●1年に1回は次の項目を自主点検してください。
  - ・こげたような臭いがしないか。
  - ・器具に発煙、油漏れなどの形跡がないか。
  - ・電線類にひび割れ、芯線露出がないか。
  - ・配線部品などに変形、ひび割れ、ガタツキ、破損がないか。

  ※3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ●赤外線リモコンを使用した機器（テレビやエアコン）の近くで点灯しますと、リモコンが誤作動することがあります。
- ●LED光源にはバラツキがあるため同じ型番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

■保証について

●保証内容

- ・直管形LEDランプおよび専用電源ユニットのご購入日より2年間を保証期間といたします。（ご購入日を特定できるものが必要です）
- ・保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常なご使用状態で不点灯などの故障が生じた場合は、弊社条件に従い同等製品と無償で交換いたします。なお、交換に伴う工事費等の補償を含め、それ以外の責はご容赦ください。

●保証免責事項

免責事項に該当した場合は、有償にて交換を行わせていただきます。

- ・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障、損傷、不具合
- ・指定外の施工方法による設置または指定外灯具を使用したことに起因する故障、損傷、不具合
- ・ご購入後の取り付け場所移設、運搬、運搬途中、施工中の事故による故障、損傷、不具合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他天災事変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障、損傷、不具合
- ・施工上の不備に起因する故障、損傷、不具合
- ・保証対象以外、他の器具、機器に起因する故障、損傷、不具合
- ・その他、弊社の責めに帰し得ない事由により生じた故障、損傷、不具合

工事される方へのお願い

●設置工事の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく設置してください。

●製品を設置する前に、必ず電源を切ってください。

●本書の指示に従わずに設置すると、重大な事故につながることがあります。

■設置手順

⚠注 意

・設置工事は、電気工事の有資格者による施工管理が法律で義務付けられています。建築基準法、消防法、電気設備技術基準、内線規程などの関連法に従って正しく行ってください。

・**工事を始める前に必ず電源を切ってください。**

1 既存の蛍光灯器具から蛍光灯を取り外し、配線部を覆う器具カバーなどを取り外します。

2 既存の蛍光灯器具には、蛍光灯専用の安定器が使用されています。どのような配線になっているか、十分に確認してください。端子台、スイッチ、ヒューズ、バッテリーなどが組み込まれている場合があります（①蛍光灯器具の結線図を参照）。

3 ①蛍光灯器具の結線図のX印で示している箇所の配線を切断します。

4 ソケットや配線などが古くないか、傷んでいないか確認してください。損傷がある場合や損傷の恐れがある場合は、交換してください。

5 ②直管形LEDランプの結線図のように、直管形LEDランプ用電源ユニット（SMPS）の2つの出力端子と、各ソケットを接続します。直管形LEDランプに極性はないので、電源ユニットの［赤/黄］または［黒/青］のどちらの端子に接続しても構いません。ソケット側は、各ソケットの両端子に接続します。
次に、電源ユニットの入力端子と1次側入力線を接続します。これにより、直管形LEDランプをどちらの向きに取り付けても点灯するようになります。

6 直管形LEDランプ用電源ユニットを器具に固定します。断熱材で覆われたり、高温部や配線に接触することのないようにしてください。ビスや木ネジを使用し、電源ユニット本体の取り付け穴2点で確実に固定してください。

注意：
・使用中の周辺温度が50℃を超えない場所に設置してください。
・ビスやネジを強く締めすぎると、電源ユニットや器具の破損や故障の原因になる可能性がありますので注意してください。

7 電線くずなどの残留物がないか確認し、配線部を覆う器具カバーを元どおりに取り付けます。

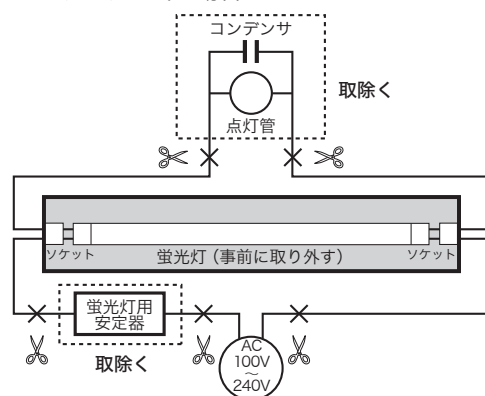
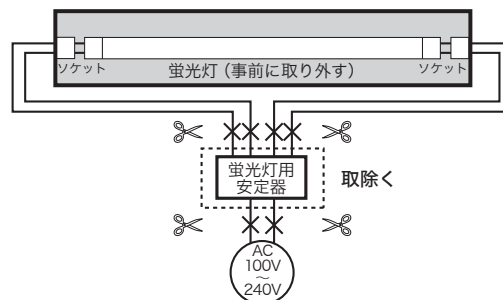
8 直管形LEDランプを器具に取り付けます。極性はありませんので、どちら向きでも構いません。

※LEDランプ取り付けの際は、落下防止器具を取り付ける等の適切な処置を行ってください。

9 電源を入れて、異常なく点灯するか確認します。

10 直管形LEDランプの設置工事終了後、必ず右の「LEDランプ専用配線済」シールに工事日、対象製品、工事業者名を明記し、照明器具に貼り付けてください。

①蛍光灯器具の結線図（設置工事前）

•グロースターター式の場合

•ラピッドスターター式/インバーター式（電子式）の場合

②直管形LEDランプの結線図（設置工事後）

LEDランプ専用配線済シールの貼り付け

三菱化学メディア株式会社
カスタマーサービス室
TEL：0120 - 34 - 4160
（携帯電話からもご利用いただけます）
月～金　10:00～12:00/13:00～17:00
当社休業日を除く

販売店・工事業者

FLD_DTX2120510A